

視点

日医の松本会長が再選 2期目へスタート

日本医師会の松本吉郎会長が再選を果たした。会長選は投票となったが、得票総数の1割は対立候補に奪われた。副会長と常任理事は無投票で決定し、2期目の松本執行部がスタートした。

6月22日の会長選の結果、378票のうち、松本会長は334票、松原健二・元日医副会長は38票、無効4票、白票2票だった。

終了後の会見で松本会長は、「どのような世界でも満票対ゼロはあり得ない。一定程度の批判や意見はある。1割の票は執行部にもっとしっかりとした政策を打ち出し、

強い姿勢で臨んでほしいという叱咤激励ととらえている」と述べた。

今後の任期2年間は、国家財政の厳しさが増すなか、「もつと厳しい2年になる」と強調。2期目の課題として、医療機関の経営問

題をあげ、「医療機関や医師を支えるために引き続きしっかりと取り組むたい。そのためにも医師会の組織力強化は欠かせない」と述べた。医師の偏在対策も「喫緊の課題だ」と位置づけ、日医内で検討し意見を発信していく意向を示した。

一方、令和6年度診療報酬改定については「物価高騰への対応は

物足りない改定だった」と振り返った。次期の令和8年度改定に向けては、物価高・賃金上昇が続く現状を踏まえ、「さらなる働きかけを行っていく」と述べた。

翌6月23日は、代議員に対して松本会長が所信を表明。診療報酬改定や医師の偏在対策、働き方改革、医療DXの推進、組織力の強化、災害対策などへの対応を説明し、「攻めるところは攻め、守るところは守るなど攻防一体となつて活動していく」と訴えた。

これからの「厳しい2年間」に向け、2期目の手腕に期待したい。

社会保険旬報

目次

No.2932 2024年7月1日

視点

日医の松本会長が再選

2期目へスタート 3

座標

日医が会長選挙で松本吉郎氏を選出

デジタル行財政改革会議が取りまとめ 4

診療録管理体制加算で疑義解釈

特定保健指導の好事例集を公表 5

レコーダ

虎ノ門フォーラム

月例社会保障研究会から

これからの施設整備の課題

寛淳夫 6

動向

医療提供体制や医療保険改革へ

方向性示す

一骨太の方針2024が閣議決定 18

霞が関と現場の間で⑤

この10年間の「人口政策」

中村秀一 17

潮流

日医シンポ「若手医師の挑戦」を開催 ... 22

6年度診療報酬改定の影響調査へ 25

かかりつけ医機能研修の骨子案示す 26

後発品17成分67品目を薬価収載 27

全日病が定時総会を開催 28

全自病の会長に望月泉氏を選出 29

NEWS

医療保険部会がマイナ保険証の利用促進策

を議論 ほか 30

BOOK REVIEW

『年金制度の理念と構造

より良い社会に向けた課題と将来像』 33

資料

「骨太の方針2024」を閣議決定 39

年金の動き

..... 41

編集室・ワードカプセル 42